

第66号

平成24年6月30日 発行

編集・発行

(社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS



W杯記念事業報告

平成24年6月17日(日)にANAクラウンプラザホテル新潟で2002年FIFAワールドカップ新潟開催10周年記念事業が行われ、多くのご来場者で盛り上がりました。

10周年事業レセプションでのご挨拶

(社)新潟県サッカー協会会長 澤村 哲郎

ただ今ご紹介いただいた澤村です。開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。さて本日はご多忙のところ国会議員の皆様をはじめとするご来賓の皆様。また関係機関の方々から多数ご出席を賜わり心から御礼を申し上げます。さて感動と興奮そして熱狂したワールドカップ開催から、早いもので10年が経ちました。その年月の早さに驚いているところですが、当協会ではこの10年を記念して幾つかの記念事業に取り組んでいます。その第一弾として6月9日ビッグスワンにて、W杯当時ボランティアとして活躍した方々と2002年に生まれた10才の子供達が新潟で戦った6チームに分かれ、一日エンジョイスサッカーを楽しんだところで、真剣のなかにも笑顔が絶えずメモリアルデーにふさわしい一日となりました。本日が第二弾で第一部がアルビレックス新潟とアルビレックスレディースの皆さんのトークショーが開かれなかなか見られない選手達の素顔と観客が一体となり笑いが絶えないトークショーとなり来場の皆様からたいへん喜んでいただけたところで、有難うございました。第2部が牛木様の基調講演、第3部が元日本サッカー協会の会長岡野様、平山元新潟県知事、篠田新潟市長、関口十日町市長、馬場県サッカー協会名誉会長、小田新潟日報社長、務取締役営業統括部長、牧野新潟市サッカー協会理事によるパネルディスカッションが行われました。ここではW杯開催からの10年を検証し、この10年後はどうあるべきかを長時間お話ししていただきました。検証では新潟県はW杯開催後アルビレックスの活躍と定着によりしっかりとスポーツ文化が定着し、今や全国で誇れる県となったと高い評価をいただいたところで、また、この先更に魅力ある新潟にするには、これまで以上にスポーツを振興させたいという夢をいだきスポーツによる人づくり・町づくり・夢づくりを努めてほしいとご提言いただきました。当協会としましては、このご提言を大切に、更に、いづれでも、どこでも、だれでもが、スポーツを楽しむ環境を作るとともにスポーツをす

る。見る・支えるなどスポーツを楽しむ、親しまいの拡大につとめてまいりたいと思っております。元気な中高年、元気なパパ・ママ・レディース・障害者。そして健全な子供達を育ててまいりたいと思っております。また第三弾としてビッグスワンのカナールに面した医科学センターの付近にW杯開催を記念し、サッカーの像を建てたいと現在制作中でありまして、秋には皆さんに披露できるものと思っております。楽しんでいただきたいと思います。さて、本日はW杯開催時それぞれの立場でご尽力いただいた皆さんから多勢出席していただいております。久しぶりにお会いし、お話しができることを私自身楽しみにしているところで、本日はどうかW杯の思い出を語りながらおいしいお酒をいただき楽しいレセプションにしたいと思っております。最後にこの事業を開催するにあたり共催いただいた新潟日報社、また、たいへんご支援をいただいたグリーン産業さんに心から感謝を申し上げます。

第16回国際ユースサッカーin新潟 開催告知

前年優勝した新潟選抜、2連覇なるか!!

7月14日(土)【スポアイランド聖籠】

- 第1試合 14:00~ U-17 新潟選抜 VS U-17 メキシコ代表
- 第2試合 16:20~ U-17 日本代表 VS U-17 ハンガリー代表

7月15日(日)【新発田市五十公野公園陸上競技場】

- 第1試合 14:00~ U-17 メキシコ代表 VS U-17 ハンガリー代表
- 第2試合 16:20~ U-17 日本代表 VS U-17 新潟選抜

7月16日(月)【東北電力ビッグスワンスタジアム】

- 第1試合 14:00~ U-17 ハンガリー代表 VS U-17 新潟選抜
- 第2試合 16:20~ U-17 メキシコ代表 VS U-17 日本代表

最終日(大会3日目:東北電力ビッグスワンスタジアム)のみ有料

前売り	大人 800円	中高 400円	小学生以下 無料
当日	大人 1,000円	中高 500円	小学生以下 無料

EVENT 7月16日(月)

小学生対象 サッカークリニック

- 時間 9:00~11:00 (予定)
- 場所 東北電力ビッグスワンスタジアム隣 スワンフィールド



このチラシを持っていくと前売り金額でチケットが購入できます!

※詳しくは(社)新潟県サッカー協会ホームページを参照してください

新年度を迎えるにあたって



社新潟県サッカー協会 会長 澤村 哲郎

皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。さて日頃から登録されているチーム・地区協会・協会役員の皆様には温かいご理解とご支援を賜わり厚く御礼を申し上げます。

早いものでW杯開催まで10年が経ちました。あの時の興奮と感動は今なお鮮明に思い出され、年月の経つ早さに驚いています。先般はW杯開催記念事業を開催させていただきましたが、基調講演、パネルディスカッションでは講師の皆さんからこの10年を検証していただくことも、この先10年、20年後はどうあるべきかご提案していただいたところと。

検証ではアルビの誕生とともに県内にスポーツ文化が生まれ全国に誇れる県に成長したと高い評価を受けました。また、常に大きな夢を描きスポーツによる県づくり・人づくり・夢づくりを全国でも誇れる魅力ある県にしたいとご提案をいただきました。

このことは当協会ではすでに2007年宣言で示しており着実に成果をあげているところと。

- 一、地区協会組織の充実・事業の推進・連携の強化
- 二、各種委員会組織の充実と活性化
- 三、リーダーの養成
- 四、JFA・HFA・関係機関との連携と働きかけ
- 五、民間企業との連携とタイアップ事業の推進
- 六、広報・事業・財務委員会の部への昇格
- 七、アルビレックス新潟への更なる支援と連携の強化
- 八、財政基盤の確立
- 九、事務局体制の充実
- 十、開かれた協会・情報の把握と発信
- 十一、役員の見直し・発想力・決断力・実行力・感謝の念



社新潟県サッカー協会 副会長 光野 治

去る5月29日に新公益法人移行と役員改選に伴い、副会長を拝命することになりました。これまで馬場名誉会長の下、澤村会長を先頭に今日まで築いて頂いた基盤を更に強固になりつつある中、副会長として責任の重大さを痛感しております。

1980年代から社団法人サッカー連盟の仕事をして頂いており、登録加盟チームもピーク時の70%と減少

今年度の役員改選で専務に再任されました。今回で二期目になり重責を任せられ心なげに在のところが健康に恵まれておりますので日々幸せ感と感謝の念を持ちながら努めてまいりたいと思っております。今後ともご協力ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

最後に登録していただいているチームの皆さん役員の皆様の益々のご活躍を期待するとともに常日頃から温かいご支援をいただいている関係各位、関係機関、企業の皆様に関心をもち、御礼を申し上げます。



社新潟県サッカー協会 専務理事 渡辺 滋

業に障害者が地域スポーツに参加できるような裾野を広げていくのが重要と考えています。また協会60年史発刊に向けて新潟日報事業社のご協力を得て進めたいと思っております。

今年度は2002W杯10周年記念行事、協会創立65周年、代表戦、そして協会60年史発刊に向けて取り組んでおります。

6月17日W杯10周年記念事業には基調講演とパネルドiskusション及びレセプションに多くの参加をいただき盛大に行なわれました。今後メモリアルイベントの開催、「やる」「見」の開催、「支える」を合言葉に更に充実させていた

この度、24年度の理事数は14名と、副会長が4名から1名に、新たに副専務2名の構成で協会運営にあたることになりました。

また、従来の理事会に相当する常務委員会を設置し理事会提案事項等の審議をしております。

現在、一般社団法人に移行すべき行政と協議中であり7月には認可される予定です。その中で理事数が大幅に減員したこと、理事数が35名以内から15名以内に改訂されました。

1. 新公益法人移行に伴う定款の変更と理項等の審議をしております。

2. ワールドカップ10周年事業

① 6月2日(土)に実施された「W杯10都市U-10県選抜大会」ここではエスプリ長岡が代表に選ばれ7月1日(日)、

3. 今後の主要事業

① 第16回国際ユースが7月14、16日にスロアイランド聖籠、五十公野公園陸上競技場、東北電力ビッグスワンで開催されます。

② 6月9日(土)に実施された「W杯国際ユースサッカーJAM」はビッグスワンで開催されU-10年代と当時のボランティアの混合チームなど楽しい1日を過ごしました。

③ 6月17日(日)に実施された「トクシヨウ・基調講演・パネルディスカッション」は大勢の皆様からご出席いただき盛会裡に終わらせていただきました。

④ 6月17日(日)の新潟日報紙面に掲載されますのでご案内いたします。

⑤ 9月7日(金)にキリンカップ2012の国際試合が東北電力ビッグスワンで開催されます。

昨年日本代表とペルーとの対戦でビッグスワンは満員の盛況でした。

今年度はまだ対戦国が決まっていますが、ワールドカップ前哨戦として素晴らしいゲームが展開されることと期待しています。

最後に新しく選任された理事ともども事業の遂行に鋭意努力をいたし、よろしくお願いいたします。



アルビレックス新潟 新監督に柳下正明氏就任!!

6月1日、アルビレックス新潟は柳下正明監督の就任を発表しました。

柳本監督は、2003年にジュビロ磐田監督、2004年にコンサドーレ札幌監督、2009年ジュビロ磐田監督を歴任し、今回アルビレックス新潟監督に就任しました。その間Jリーグでの豊富な経験と天皇杯、ヤマザキナビスコカップを優勝と導くとともにさらに選手育成も高く評価されています。

アルビレックス新潟は、現在低迷が続けていますが、必ずや上位進出を図っていただけるものと確信しています。

サポーターともどもさらに応援の輪を広げチームを盛り上げましょう。



●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報

東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

☆女子委員会だより☆

【新潟県女子技術の活動】

2012

平素より女子活動に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。今回は新潟県女子技術の活動をご紹介させていただきます。新潟県女子の活動はU15年代とU12年代でトレセン活動を行っています。それぞれの昨年度の活動内容を紹介します。

【U15カテゴリー】

年度初めの4月に地区選考会を行い、合計53名の選手が選考会に参加しました。その中からFP26名、GK6名で新潟県トレセン女子U15として活動しました。

7月・10月・11月に北信越トレセン女子U15が行われ、そこに新潟県からFP12名、GK2名を推薦、北信越トレセンへ参加しました。この北信越トレセンの活動の中からFP14名、GK2名が12月に行われたNTC女子U15へ北信越代表として参加しました。北信越の代表として新潟からはFP4名、GK2名が選ばれNTCへ参加しました。

県内トレセン活動は2ヶ月に1回のトレーニング、1月に関東遠征という形で活動して来ましたが、そして昨年

【U12カテゴリー】

6月に行われた北信越トレセン女子U12へ推薦するFP10名を選出。昨年度はGKがオフレセシへ参加しました。この6月の北信越トレセン女子U12で、9月に行われたNTC北信越U12前期の北信越女子として推薦するFP10名、GK2名の選手も兼ねておりました。新潟県からは9月のNTC北信越U12前期は、4名のFPが選出されました。またこの9月でNTC北信越U12後期の選手も選抜されて、女子は合計4名が選ばれました。その4名のうち2名が新潟県の選手でした。

県内トレセン活動は、11月に県女子U14(新人戦)の大会に出場させてもらい、3月に茨城県に遠征へ行ってきました。そしてU15同様、「チャレンジニイガタ」にも参加しました。当時、県Aチームと県Bチームの差は少し開いていたのであります。

この国体選抜選手も今はまだ県外選手がほとんどですが、U12・U15トレセンで強化された選手が、新潟県の選手として活躍する、近い将来、こうなることを目標に頑張りたいと思います。

また、昨年のので大きくBチームが成長し、11月のU14新人戦、3月のトレセン活動で大きな成長を見ることが出来ました。また、この年代は宿泊を伴った遠征はあまり無かったため、オフの部分を指導することができ、サッカーだけでなく所の成長もありました。



また、昨年のので大きくBチームが成長し、11月のU14新人戦、3月のトレセン活動で大きな成長を見ることが出来ました。また、この年代は宿泊を伴った遠征はあまり無かったため、オフの部分を指導することができ、サッカーだけでなく所の成長もありました。

【新潟県女子技術の活動】

(上越地区)

2012

上越地区では、Jwish、WISHガールズ(JJwishのU12)、高田高校女子サッカー部、上越教育女子サッカー部(今は、フットサル中心)がサッカーの活動を行っています。

【女子サッカー交流戦】

6月2日(土)に柿崎グラウンドのお披露目兼ねて女子サッカー交流戦を行いました。県外のチーム、上越地区外のチームを招待してU12とU18のカテゴリーに分かれて、試合を行いました。U12は、8チームで4チームのリーグ戦を2リーグ。U18は、4チームでのリーグ戦を行いました。上越地区からは、JJwish、高田高校女子サッカー部、WISHガールズが参加しました。それ以外に上越地区の4種のチームでのみ活動している女の子たちにも声をかけ、WISHガールズ2として参加しました。4種で女の子の中で活動している女の子たちも、女の子たちだけでサッカーをできることがとても楽しかったようで、活

このほか、国体成年女子の活動もありです。国体成年女子は中学3年生以上が対象となります。先般の一次選考会で、U15トレセンの選手も数名合格しております。こういった部分を少しでも解消するため、女子委員会とタイアップし巡回指導なども取り入れていこうと企画しています。また地区間での人口数やチーム数、指導者の数などに差があります。そういった所へ巡回指導を行い、女子の発掘や、女子へ関わる指導者

ので、ぜひこの地区へ、この地域へ来てほしい、という要望があります。今年度早速行います！

【生いたちと現状】
上越地区の女子サッカーは、古くは上越教育大学の女子サッカーから始まっています。上越教育女子サッカー部は、女子サッカーがまだ広く知られていない25年以上前に創設され、全国大会で3位という輝かしい成績を収めていたころもありました。

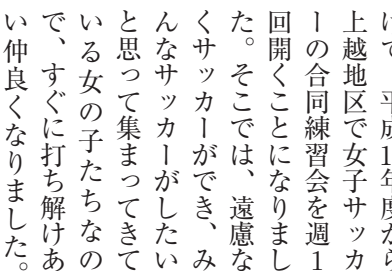
その後4種の女の子たちに混ざってサッカーをする女の子が見られるようになったのが、12・13年くらい前からでしょうか。その頃には、上越地区には大学以外に女子サッカーチームはなく、少年のチームで男の子と一緒にサッカーをするしかなかった。その女の子たちの「女の子だけのサッカーをしたい」という声を受けて、平成16年度から上越地区で女子サッカーの合同練習会を週1回開くことになりました。そこでは、遠慮なくサッカーができ、みんなサッカーがしたいと思っていて集まってきた女の子たちなの

そしてそこでの練習の成果の場を求め大会にも少しずつ参加するようになりまし。また、県外の女子チームからも声をかけていただき、富山や福井にも遠征に行っていました。さらに「中学校にいてもサッカーを続けたい」という声を聞いて平成18年JJwishが誕生しました。現在JJwishは、大人1人、高校生3人、中学生13人、小中学生18人います。チームとしての練習は、週に2回か3回。それ以外に小学生なら4種のチームに。中学生は3種のクラブチームや中学校の部活。高校生は、部活にも所属し、なるべく毎日サッカーの練習ができるように頑張っています。もちろん、練習や大会が重ならないと思っ

トサル大会でも過去2回北信越大会に出場しています。メンバーが中学生中心なので、U18や一般の大会になる

と、なかなか勝ち進んでいくのは難しいのが現状ですが、少しずつでも実力をつけて上の順位に食い込めるように努力しています。上越地区では、男子、女子ともに中学を卒業した後、地区外や県外に活動の場を求め、遠方の地に行っている選手が多くいます。これは、裏を返せば、上越地区では、なかなか高いレベルでサッカーを続けられないという現状があると思っ

そんな中で、wishのチームの監督・コーチで活動をしていて、高田高校に進学した女の子たちが、5年前同好会を作り、2年後に女子サッカー部として認められました。北信越の4種の大会、県内の大会にも出場しています。今年度からインターハイの正式種目なる2011年には全国大会にも出場しました。県内にも高校の女子サッカー部が増えています。インターハイの道は険しいですが、ぜひ、上越地区からインターハイ出場を果たしてほしいと思っ



【さくらリーグ】
上越地区では、女性

第16回 国際ユースサッカー in 新潟

2012.7.14~7.16

名門ハンガリー

強豪メキシコ

U-17 日本代表

前年優勝新潟選抜

スポアイランド聖籠・新発田市五十公野公園陸上競技場・東北電力ビッグスワンスタジアムでの熱い闘いに期待!!

キリンチャレンジカップ2012

2012.9.7 (金) 東北電力ビッグスワンスタジアム

日本フル代表来県!! 対戦国は後日決定

下越地区サッカー協会は、新発田市の五十公野陸上競技場、アルビレッジ(新潟聖籠スポーツセンター)等の施設をはじめとして恵まれたサッカー環境の中で、創立以来、地区内協会のとりまとめを中心に活動しております。

特に、近年1種(社団法人)から4種(小学生)まで各種大会が集中しており、協会役員及び協会員が一致協力して、大会運営をしています。少し残念なことは、審判講習会の機会が減少したため、

下越地区サッカー協会 資格更新ができず、審判員の不足から大会運営に支障をきたしてしまうといったことが上げられます。

更に、サッカー人気が上昇とともに、試合を観戦するファンも豊富になり、審判員の資質向上が求められております。審判のホイッスルひとつで試合そのものの善し悪しが決定されるといっても過言ではありません。プレーをする人、観戦する人、運営をする人、それぞれが満足感・達成感を味わえるよう、審判講習会の機会を増やし、審判員の確保、資質の向上が急務であると考えます。

JFAを通じ地域社会の少年少女に夢を与え、サッカーの楽しさを伝え、次世代の後継者を育成していく為にも各地区に対し、予算の増額をお願い致します。

三条地区会長の考えとして、今後は下越地区の各協会を巡回し問題点や要望などを聴取し、現場の生の声を県サッカー協会へ提言しながらサッカーの底辺拡大を図っていきたく考えております。

最後に、中村下越地区事務局長に対し、今までの協力体制に感謝の気持ちを申し上げるとともに、今後ともよろしくお願いたします。

地区協会だより

下越地区サッカー協会

副会長 小林 一義

NiFA マスタープラン 2007 スタート



(社)新潟県サッカー協会は、英語名:Niigata Football Association の略称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニーファ」と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

- 2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
 - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
 - (3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
 - (4)JFLに加盟するチームを育成する。
 - (5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

- 2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
 - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
 - (3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

(社)新潟県サッカー協会 事務所移転のお知らせ

6月1日より(社)新潟県サッカー協会事務所が、下記の場所に移転しました。

住所 〒950-1101
新潟市西区山田 2307-272
新潟ふるさと村 時の旅人館 2F
TEL 025-233-0100 FAX 025-233-0055
国際ユースサッカー in 新潟
TEL 025-233-0300 FAX 025-233-0055



新潟から世界へ!! 代表選手続々誕生

U-23 日本代表 ロンドンオリンピック予備登録メンバー

鈴木 大輔・酒井 高德 (新潟県出身)

(アルビレックス新潟)(VfB シュツットガルト)

なでしこジャパン ロンドンオリンピック予備登録メンバー

川村 優理・上尾野辺 めぐみ

(アルビレックス新潟レディース)

U-19 日本代表 AFC U-22 選手権予選 インドネシア

川口 尚紀・鈴木 武蔵

(アルビレックス新潟ユース)(アルビレックス新潟)

U-18 日本代表 スロバキアカップ

小塚 和季 (帝京長岡高等学校)

U-16 日本代表 トレーニングキャンプ東日本 横浜

飯野 七聖・佐久間 理央

(アルビレックス新潟ユース)(アルビレックス新潟ジュニアユース)

U-16 日本代表 ラオス遠征

山本 隼平・前谷 崇博 (新潟県出身)・鎌田 啓義

(北越高校)(ガンバ大阪ユース)(アルビレックス新潟Jrユース)

U-16 日本代表 カタール/アゼルバイジャン遠征

酒井 高聖 (アルビレックス新潟ユース)

帝京長岡高校

アベックで県大会制す 各種別で上位大会進出決定

◆2種◆

○第65回新潟県高等学校総合体育大会サッカー競技大会
帝京長岡高等学校
6-0

開志学園
JSC高等部

監督 谷口 哲朗

主将 三田 陽介

大会を終えてまずは県総体を振り返って、関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思っております。日頃より協力していただいている保護者、後援会、OB会の皆様、そして本校サッカー部に送り出して頂いた3種・4種の指導者の皆様、すべての方々に感謝申し上げます。と思います。

今大会を終えて非常に沢山の経験をさせていただきました。大会を通してゲームの入り方が悪く、リズムをつかむまでに時間がかかってしまったことが一番の課題だったと感じます。

本大会までに一つでも多くの課題を修正し、一戦必勝で一つでも多く勝ち進めるように選手・スタッフ一丸

となって頑張ってきたと思います。

新潟県の代表校という自覚を持ちピッチの中だけでなく常日頃から緊張感を持った行動を心掛けていきたいと思っております。

応援よろしくお願ひいたします。



第4回NiFAレディーズ エンジョイサッカーフェスティバル

フットサル委員会 野口光一

今年で、4回目の開催となる、NiFAレディーズエンジョイサッカーフェスティバルが、エンジョイ5チーム、一般5チーム、U-12、6チームで、5月13日「日」長岡市陸上競技場で、午前十時、NiFAミックスマットと、エンジョイ、一般、U-12選抜とのエキシビジョン2試合など、午後からは、JFAアンバサダーの平瀬智行「元日本代表FW」、川上直子「元なでしこDF」のサッカースクール、サイン会など、1日参加者全員が楽しめる内容でした。



今年で、4回目の開催となる、NiFAレディーズエンジョイサッカーフェスティバルが、エンジョイ5チーム、一般5チーム、U-12、6チームで、5月13日「日」長岡市陸上競技場で、午前十時、NiFAミックスマットと、エンジョイ、一般、U-12選抜とのエキシビジョン2試合など、午後からは、JFAアンバサダーの平瀬智行「元日本代表FW」、川上直子「元なでしこDF」のサッカースクール、サイン会など、1日参加者全員が楽しめる内容でした。

◆3種◆

○日本クラブユースサッカー選手権(U-15)新潟県大会

アルビレックス新潟ジュニアユース 3-1
長岡ジュニアユースフットボールクラブ (長岡JYFC)

上越春日フットボールクラブ 3-1
アルビレックス新潟ジュニアユース

2-2 PK(4-2)
FC五十嵐



◆4種◆

○全日本少年サッカー大会 新潟県大会

アルビレックス新潟ジュニア 1-0
グランセナジュニア

アルビレックス新潟ジュニア

監督 郷野 太郎

練習試合で課題をみつけたトレーニングで改善し、うまくいかず到我慢の日もたくさんありましたが、みんなで乗り越え技術面だけではなく、精神面も大きく成長しました。その結果が県大会の決勝という舞台で力強く表れてきたことがとてもうれしく思います。

全国大会に向けて、一回りも二回りも成長できるように選手とともに日々のトレーニングの積み重ねを大切にしていきたいと思っております。そして今度は新潟県代表として全国大会という大舞台で今まで培ってきた技術と精神力を力強く表現し、選手たちの「将来、アルビレックス新潟のトップチームで活躍する」という目標に向けたいと思います。

面を力強く表現し、選手たちの「将来、アルビレックス新潟のトップチームで活躍する」という目標に向けたいと思います。

練習試合で課題をみつけたトレーニングで改善し、うまくいかず到我慢の日もたくさんありましたが、みんなで乗り越え技術面だけではなく、精神面も大きく成長しました。その結果が県大会の決勝という舞台で力強く表れてきたことがとてもうれしく思います。

全国大会に向けて、一回りも二回りも成長できるように選手とともに日々のトレーニングの積み重ねを大切にしていきたいと思っております。そして今度は新潟県代表として全国大会という大舞台で今まで培ってきた技術と精神力を力強く表現し、選手たちの「将来、アルビレックス新潟のトップチームで活躍する」という目標に向けたいと思います。



◆女子◆

帝京長岡高等学校

監督 松野 智樹

去年、創部一か月後の同大会では準決勝で敗れ、秋の北信越大会には人数不足で出場できない中、会場校・役員として過ごすなど、悔しい思いをしながら、創部二年目、10名で迎えた県大会決勝では、サッカーが得意喜び、たくさん応援してくる人たちに感謝の気持ちをグラウンドで表現しようという思いで臨みました。結果は目標と程遠いものでしたが、初めて得た北信越のキップ、他の参加校の思いや、県代表としてのプライドを持って戦いたいと思



主将 堀田 咲良
女子サッカー部は「素直・一生懸命・継続・感謝」をモットーに日々練習に取り組んでいます。先日行われた県大会では優勝することができましたが、決勝10・0以上という目標を達成することができず、悔しい思いをしました。

北信越大会では、応援してくださいの方々に感謝の気持ちと、新潟県代表としての誇りを持って戦いたいと思

AFC U-13 女子サッカー大会 審判コース2012に参加して

新潟大学 清水和佳奈



6月3日から15日まで私は中国の南京にて「AFC U-13 GIRLS FOOTBALL TOURNAMENT 2012」の審判コースに参加してきました。大会参加チームは、日本、中国、台湾、北朝鮮、韓国、北マリアナ諸島で東アジアの頂点を競う大会でありました。審判コースには日本から2名、中国から5名、台湾から2名、韓国から2名、北マリアナ諸島から1名、計12名が参加しました。審判の中にはまだ審判を初めて2カ月の台湾人審判、今年の4月から国際審判になった韓国人審判などキヤリアに差はありました。私が、いずれも志高い人材が集まりました。

私たちが、審判コースは4日〜8日までの期間は午前中に講義、午後は映像を見てそのシチュエーションに関するテスト、その後プラクティカルトレーニングを2時間行いました。当然のことながらすべて英語だったため英語は半分くらいしか正直わかりませんでした。しかし、最初は最初より落ち着いて映像交えた分析、講義であったため、なんとか理解できました。ルールブックからいくつかの項目をピックアップしてその日の講義が行われました。トレーニングはエキストラのチームと共に実践的な内容を行いました。旗の使い方、主審とのアイコンタクト、PK、フリーキックのシチュエーション、オフサイドの見極めについて行われました。今までの行ったことのない内容でも新鮮でした。9日〜14日(12日は観光)は審判が割り当てられ1日1試合、もしくは2試合行いました。私は主審、A1、A2、4THをまんべんなくやらせていただきました。今までに経験したことのない大舞台で審判をするのができ、とても嬉しかったです。しかし、うまくやらなければという責任感から、かなりのプレッシャーも味わいま

した。オープンニングの試合で4THをおこなったのですが、今まで経験がほとんどなかったため、くさんのミスをしてしまいました。そのときは本当に悔しい気持ちでいっぱいでしたが、この反省をいかして2回目の4THのときは最初より落ち着いてできました。主審、副審については新潟で今まで活動してきた成果を発揮しようと努力しました。新潟ではとても丁寧にご指導していただいていたため4THに比べては自信がありました。それでも課題はたくさんあります。自分の甘さを痛感しました。毎日試合後は全体で反省会をし、2人のインストラクターからコメントをいただきました。そのなかでも4人の審判がしっかりアイコンタクトをすることを強調していただきました。仲間からも個人的にコメントをもらって次によりよいパフォーマンスができるようにしました。

審判だけでなく各国の仲間と友達になってその国の言葉を教えてもらったり自分も日本語を教えたり、食事をしたり今までのない経験をすることができました。毎日が充実していてあつという間に時間が過ぎてしまいいまだ帰りたくないと思っていました。

この経験を終えて自分の審判スキルの未熟さを痛感しました。プレアの再開方法、ファウルの見極め、全体を見渡す余裕がないことなどまだまだ審判として不十分な点が多くあることがわかりました。これらのことは日本で少しずつ改善していきたいと思っています。また、英語の必要性を強く感じました。自分の気持ちや伝えたくても言葉が出てこなかったり、うまく聞き取れず相手の言いたいことをなかなか理解できなかったりと、もどかしさを毎日感じました。しかし、ジェスチャーや単語でも知っているとそれなりに伝わることもわかりました。外国の人とコミュニケーションをとるには自分がどれだけの相手を知りたいと思うか、また自分のことを知ってもらいたいという気持ちがいかに重要なのではないかと感じました。

私はこれからもできる限り審判を続けていきたいと思っています。この経験をいかして常に学ぶ気持ちを忘れず、自己を高めていきたいと思っています。この研修で得たすべてのことは私の宝物です。このたびは私を推薦していただき誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

謝申し上げます。感謝申し上げます。

総会・理事会の開催

社員総会・理事会が平成24年5月29日(火曜日)、新潟市のイタリア軒で開催されました。そこで新理事・役員が全員一致で承認され、新しい顔ぶれがそろい新体制のもと事業がスタートしました。

協議事項は総会では、新理事の選任、理事会では役員を選任があり、新会長には澤村哲郎会長が、新副会長には光野治常務理事が、専務には渡邊滋専務が、また新設された副専務には佐藤圭司・中澤雄一常務理事がそれぞれ選任されました。

新役員・理事は下記のとおりです。

審判委員会便り

審判委員長 加藤 芳彦

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)



清水和佳奈さん(左)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

これまでの成果を生かして、二〇一二年はさらなる飛躍の年にすることを願っています。昨年はユース審判員として小見佑貴さん(中越高校)が第三十五回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めました。今後の活躍が期待できますし、彼に続くユース審判員が現れてほしいところです。女子では清水和佳奈さん(新潟大学)が四月に行われた「AFC U-13 女子サッカー大会」審判コース2012(開催地 東アジア地域本協会から推薦(二名)

24・25年度新理事決まる！ 新潟県サッカー協会役員名簿

名誉会長	馬場潤一郎	専務理事	渡辺滋
会長	澤村哲郎	副専務理事	佐藤圭司
(副会長)	光野治	(副専務理事)	中澤雄一
大川健	石井修	星野陸夫	山中仁樹
野島二郎	十二重樹	金子良次	金子玄益
森啓之輔	五十嵐茂夫	山崎孝雄	室橋文司
(顧問)	(顧問)	(顧問)	(顧問)
三條孝夫	富澤勇雄	古川智久	藤田元彦
関谷敏雄	西出明	榎原公	山下英勝
里村和彦	佐野克彦	斎藤栄	坂井正樹
(顧問)	(顧問)	(顧問)	(顧問)
渡辺一弥	中川靖	矢澤努	小林彰
大原重男	森恭	田村貢	阿部辰也
小湊繁	中村勉	金子玄益	石黒浩司
榎本恵子	山中仁樹	永井啓介	佐藤圭司
中澤雄一	中澤雄一	佐藤圭司	中澤雄一
佐藤圭司	中澤雄一	佐藤圭司	中澤雄一
渡辺滋	渡辺滋	渡辺滋	渡辺滋